

所在 〒759-6603 山口県下関市安岡町8-5-1

県西部の基幹病院として平成17年に新築移転。地域の医療機関と連携し「心のかよ質の高い医療」を提供しています。二次救急病院としてヘリポートも設置し、総合病院として標榜科は30科。小児救急拠点病院、地域周産期母子センター、地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院に指定され、将来の専門医を見据えた総合診療能力を病院全体で育みます。

募集人数 **10名** 病床数 **373床**

(令和7年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目：約550,000円/月(手当含む)
給与2年目：約600,000円/月(手当含む)
賞与1年目：450,000円、2年目：600,000円



研修プログラムの特徴

幅広く知識が身に付くよう総合診療方式の研修を基準としながら、将来の専門医を考慮し、研修医の希望が叶えられるよう柔軟に配置。各部門多くの症例を実際に経験でき、各種カンファレンスに参加して総合的な知識を得ることが出来ます。同時にプライマリ・ケアのできる幅広い第一線の臨床医を育成します。

研修スケジュール例

1年目	内 (腎内、呼吸器、循環器、消化器) 24週 一般外来(週1日)	救 4週	小 4週	産 4週	外 6週	麻 6週
内…内科、救…救急、小…小児(一般外来含)、産…産科、外…外科、麻…麻酔科						
2年目	地 4週	精 4週	残りの44週間は希望の科を自由に選択可能 必須の救急の残り8週間は当院輪番制の救急日直・当直を行う			
地…地域医療、精…精神科						

関連病院

- ・山口大学医学部附属病院
- ・下関病院(精神科)
- ・下関リハビリテーション病院(地域医療)
- ・下関市立豊田中央病院(地域医療)

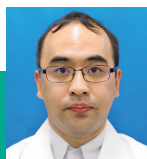
主な勉強会

- 救急カンファレンス(毎週)、
- 内科合同カンファレンス(毎週)、
- 外科カンファレンス(毎週)

プログラム
責任者

[呼吸器内科]

宇山 和宏 医師



Q 当院の自慢は? 症例数が豊富で症例のバランスもとれており、各科の垣根も低く困った症例も気軽に相談できる環境があります。また医師、看護師、薬剤師、検査技師、メディカルスタッフのモチベーションが高く、病院が一丸となって熱い心で医療を行っています。

Q 研修内容のセールスポイントは? 地域に密着した基幹病院であるため、プライマリケアから高度医療まで充実した研修を行うことができます。救急車の受け入れ件数も多く、多くの症例を経験できます。また各科での研修は、多くの優秀な指導医によるマンツーマンで対応しており、きめ細かい指導が可能です。さらに救急外来で難渋した症例を中心に、指導医も参加して症例検討会を毎週行い、症例の振り返りも行っています。

Q どんな指導を心掛けていますか? 基本的な手技の習得および受け持った症例の診断・治療を主体的に考えてもらうこと、患者さんに耳をかたむけ、患者さんに合ったよりよい治療と一緒に考えていくことを心掛けています。

Q 医学生へのメッセージ 症例に偏りがなく、common diseaseから希少疾患まで、多くの症例を経験できる病院だと思います。よりよい医療を目指して一緒にがんばりましょう。

研修医

研修2年目[山口大学出身]

佐藤 聡利 医師



Q 研修先病院として選んだ理由は? 私は大学6年生時、内科志望であり、消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・腎臓内科と幅広い内科がある当院が魅力的に感じました。見学をしたところ、指導医・研修医の先輩方とともにとても丁寧に対応してくださり、居心地が良かったことも決めての一つです。

Q 研修病院としての特色を教えてください。 当院の研修では、指導医の先生からマンツーマンで指導を受けることができ、研修医一年目で必要な手技を一通り学ぶことができます。また現在下関市では、当院を含めた三病院の輪番で救急対応をしています。そのため、救急外来では軽い重症、様々な主訴の患者を診ることが出来ます。また、上級医のサポートもしっかりしております。

Q 研修で最も身についたことは? 当番日の救急外来ファーストタッチは基本的に全例研修医でしているの、初期対応や鑑別疾患を考える能力が身についたと思います。また、フィードバックのためのカンファレンスも充実しております。

Q 医学生へのメッセージ 内科・外科・周産期をはじめ多くの診療科がある当院では、充実した研修医生活を過ごせると思います。当院に少しでも興味のある方は、是非一度、病院見学にお越しください。

お問い合わせ先

- 担当部署：経営管理課
- 担当者：村田 智隆
- 電話：083-262-2300
- Eメール：soumuka@simo.saiseikai.or.jp